

2016年2月17日

台湾南部で発生した地震に対する対応について

一般社団法人 日本建築学会
会長 中島正愛

2月6日、台湾南部・高雄市美濃区周辺を震源とする $M_L6.4$ の地震が発生しました。同地域において多数の建物等が倒壊あるいは損壊し、多くの方々が犠牲となりました。被災された皆様に対し心よりお見舞い申し上げますとともに、不幸にして亡くなられた皆様のご冥福を深くお祈り申し上げます。

本会では、地震発生直後から災害委員会が中心となって情報収集を行い、ホームページから公開していますが、被害の甚大さに鑑み、被害調査および日本の耐震技術の応用の可能性について調査を行うため、災害調査団を派遣することとしました。

1. 調査団：勅使川原正臣・名古屋大学教授（団長）、ほか10名
2. 調査期間：2016年2月20日（土）～29日（月）
3. 調査内容：1) 高雄市を基点とする周辺被災地域の地震被害概要の把握
2) 被災地域で用いられる建築構造・構造詳細の把握
3) 個別建物における被害原因の抽出
ほか

以上